

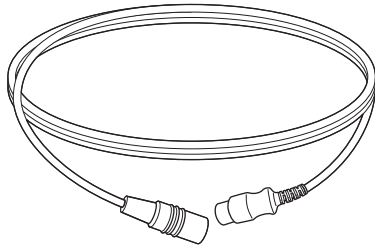
機械器具 21 内臓機能検査用器具  
高度管理医療機器 重要パラメータ付き多項目モニタ 33586003  
\* 特定保守管理医療機器「生体情報モニタ Accumil V7000シリーズ」の構成部品  
体温ケーブル TypeV

【禁忌・禁止】

接続する生体情報モニタの取扱説明書を参照してください。

【形状・構造及び原理等】

1. 構成



体温ケーブル TypeV  
HXA-VTEMP-CBL

\*\* 適用機器

適用機器	医療機器認証番号
生体情報モニタ Accumil V7000シリーズ	22600BZX00092000
生体情報モニタ Accumil V6000シリーズ	22600BZX00264000
生体情報モニタ Accumil V5000シリーズ	22600BZX00097000

\* 2. 動作保証条件

温度範囲：0～40℃  
湿度範囲：15～95%

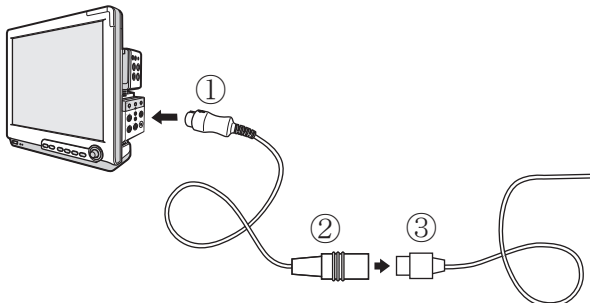
【使用目的又は効果】

\*\* 生体情報モニタまたは体温モジュールなどと体温プローブを接続するための中継ケーブルです。  
接続機器は生体情報モニタの取扱説明書を参照ください。

\* 【使用方法等】

＜使用方法＞

- \*\* 1. ケーブルの①コネクタ（本体側）を生体情報モニタなどに接続します。
- \*\* 2. ケーブルの②コネクタ（体温プローブ側）を対応する体温プローブ③に接続してください。



\* ＜組み合わせて使用する医療機器＞

販売名	医療機器認証・届出番号
直腸・食道用ディスプレイ体温プローブ TypeV	228ABBZX00039000
腋下用ディスプレイ体温プローブ TypeV	26B1X10002000035

【使用上の注意】

\* ＜重要な基本的注意＞

- \*\* ・ケーブル類の配線に注意してください。[患者に絡みついたり、締め付けたりする危険性があります。]
- \*\* ・頻繁な消毒は劣化が進むため、消毒後はひびや変形などがないことを確認してください。
- \*\* ・消毒時は、ケーブルを消毒剤に浸したり、コネクタ部を濡らしたりしないでください。
- \* ケーブルは、ケーブルコネクタを持ち、抜いてください。適切に抜かないと使用寿命が短くなります。
- \* 指定の機器以外、接続しないでください。[本来の性能や機能が損なわれ、重大な事故を引き起こす可能性があります。]
- \*\* ・長期にわたって測定する場合、患者がケーブルなどで押さえつけられ、圧迫していないことを適宜確認してください。また、ケーブル類が患者の体の下に配置されないようにしてください。[血流を阻害し、圧迫壊死を生じることがあります。]
- \* 磁気共鳴画像診断装置（MRI装置）を併用しないでください。[MRI装置への吸着、故障、破損、火傷などが起こる恐れがあります。]

【保管方法及び有効期間等】

\* ＜保管の条件＞

温度範囲：-30～70℃  
湿度範囲：10～95%

\* ＜使用期間＞

- \*\* ひびや変形などの劣化、または体温プローブ接続時に測定ができないなどの症状が発生した場合は新しいケーブルに交換ください。

【保守・点検に係る事項】

\*\* 使用前に体温の測定値が正常に表示されることを確認してください。

\* ＜使用者による保守点検事項＞

\*\* 生体情報モニタ本体の取扱説明書に従い、使用前の日常点検および洗浄または消毒を実施してください。必要に応じて、洗浄または消毒を実施してください。

洗浄

1. 水で湿らせた綿布または柔らかい布で洗浄します。
2. 洗浄後、柔らかい布で水分を拭き取り、空気乾燥させてください。

消毒

- 推奨する消毒剤：エタノール70%、イソプロパノール70%
1. 上記の方法で洗浄後、推奨された消毒剤を使用し、綿布または柔らかい布で拭いてください。
  2. 消毒後は必ず水で湿らせた柔らかい布で残留した消毒剤を拭き取り、空気乾燥させてください。

\* 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：フクダ電子株式会社

外国製造業者：Shenzhen Mindray Bio-Medical Electronics Co., Ltd. (中国)  
シンセン マインドレー バイオメディカル  
エレクトロニクスカンパニーリミテッド



046-006199-00(3.0)

接続する機器の取扱説明書を必ずご参照ください。

4L011526A